

ひだまり通信

No. 5

2004年 2月



9才
春佳

学校の帰り道、ふきのとうを見つけました。
もう春なんだなと思いました。



日ざしも春めいて、少しずつ暖かくなって
参りました。

昨年は、冷夏で、雨の中での農作業が辛い
一年でした。10年ぶりの凶作。これに伴う様々な
情報が流され、心配がたえませんでした。

今年は、明るい話題が沢山聞こえる年になると
いいですね。

農園の一年間をふりがえてみました。



作業場で初めて つばめのひなが誕生しました。
セキレクもえさを運んでいます。毎朝かわいい声で
迎えてくれます。楽しみがひとつ増えました。



田植えが済み、ハウスのビニールを片づけています。
さわやかな風が心地よい一日でした。



種まきから9日目のメロンの苗です。
甘いメロンが実りますように。



03.6.28



03.05

田舎には、楽しいものがいっぱい
オニヤンマのやごに大きなるぎ、子供達にとっては、宝物です。



溝切りは、稲の根に光や酸素を与え、丈夫にする為に行なう作業です。足にどうか絡んで重くなり、長い時間 田んぼの中を、機械を押し歩くのは、重労働です。



稲刈りは、まもなく終了します。
この秋は、お天気に恵まれず、例年より 2週間長い稲刈りでした。





「やった」赤とんぼ・着地大成功！
「お姉ちゃん、すごいねえ」妹達は感心して
見えています。



小学校の給食に食材を提供しています。今日は、子供
達との交流会です。中でもおじいちゃんが換えてくれた
きな粉あげパンは、子供達に大人気です。



晩秋のひと時です。農作業も一段落して、おだやかな気持ちになります。



大みそかのそば打ちは、子供達も楽しみにしています。おじいちゃんが育ててくれた山いもを使った自然薯そばです。





収かくした大豆で、お豆腐作りです。



まっ白な雪があたり一面をおおい、田んぼも広々と
感じます。